

# インドBIS認証 (ISI) 製品認証申請代行サービス

- BIS-ISI (Indian Standard Institution) 認証  
インド国外の製造業者はインドへ輸出・販売される対象製品について、BISインド基準局(適合性評価)規則2018のスキームIに従ったISI強制認証マークの取得が義務付けられています。FMCS(外国メーカー認証制度)の規定に基づき、申請書類を提出し審査を受けた後、製造工場にてBISの監査が実施されます。その後、インド国内の認定試験所で試験を実施することによって、品質及び安全基準に準拠した製品、製造工場に対して、ISIライセンスが付与されます。

## ■ NATOMがご提供するサービス

ISI強制認証が適用される製品は、セメント、家電製品、食品、鉄鋼製品、化学製品、ケーブル、おもちゃ、タイヤ、自動車部品など産業用や家庭用の製品412品目(\*)が認証の対象となります。

- 家庭用電気製品 (回路遮断機、電力量計、電気ストーブ、一般電球など)
- フードミキサー、家庭用給湯器、エアコン、ガスストーブなど
- 乾電池、プラグ/ソケット、配電変圧器、誘導モーター、コンデンサなど
- タイヤ、ガラス、ケーブル (PVC絶縁電気用など)、ヘルメットなど
- 鉄鋼製品 (各種鋼線・鋼板・鋼帯、ステンレス、型鋼など)
- 医療機器 (体温計、診断用X線装置)、紙、履物類など
- 化学製品 (苛性ソーダ、メタノール、ポリエチレン、ABS樹脂、など)
- セメント、おもちゃ、食品 (ミルク、ミネラルウォーターなど)

(\*2023年7月時点、上記以外にも多数対象製品が指定されています。)

NATOMではBIS認定申請代理人と提携により、申請書類の準備から、工場監査、現地試験、最終審査による認証取得まで、お客様のBIS製品登録をフルサポートいたします。

IS:XXXXX

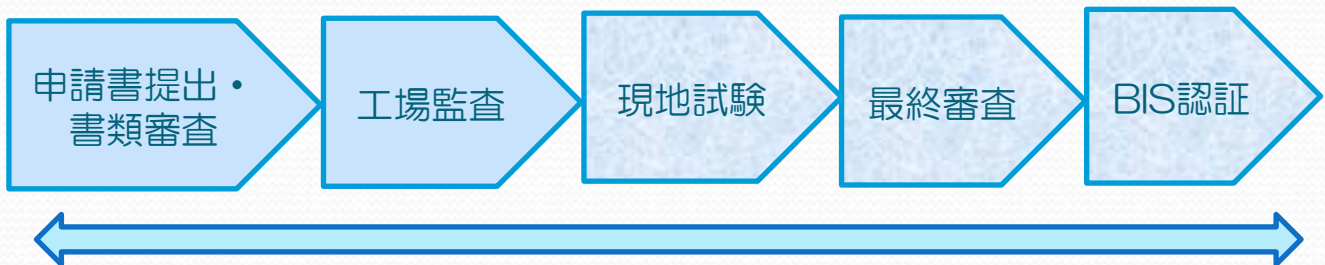


CM/L:XXXXXXXX

- 申請の種類
  - ◇ 新規申請
  - ◇ 年次更新
  - ◇ スコープ変更申請
- ライセンス取得のため、製造者は工場単位で製品毎に申請します。インド国外の申請者はAIR(現地代理人)の指定が必要です。
- 製造業者は、製品に関連するインド規格（IS規格）及び製品マニュアル(PM)に従って、製造インフラ、適切なプロセス制御、品質管理、および試験設備と試験機能を備えている必要があります。
- BIS認証の取得製品にはISIマークを表示して出荷します。
  - 対象製品のIS規格番号 (IS xxxxx)、登録認定番号 (CM/L-xxxxxxxxxxx)、BIS URL等を併記
- 製品とインドへの輸入量に応じて指定されるマーキング使用料を支払う必要がございます。
- ライセンスの有効期限は初回登録時は1年または2年間、2回目以降は1～5年が選択可能です。

## ■ 業務フロー

- 新規申請においては、申請書類の提出、工場監査、監査後のBIS認定試験所によるサンプル試験を実施します。
- BIS-ISI認証に関するご相談、申請書類の準備などNATOMが国内の窓口としてトータルで対応致しますので、どうぞお気軽にご相談ください。



- 部品・原材料リスト
- 製造機器・試験機器リスト
- 製造フロー、品質管理文書ほか
- ルーチン試験

問合せ先： 株式会社NATOM  
〒220-0072 横浜市西区浅間町5丁目378-10 #201  
TEL :045-534-3781  
<https://natom.co.jp>